

地域着型サービス 活動報告書

事業所名：湯の郷苑 小規模多機能型居宅介護事業所

サービス種類：☐グループホーム ・ ☒小規模多機能型居宅介護

☐地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

☐地域密着型通所介護 ・ ☐認知症対応型通所介護 （該当に☒)

日 時：令和 6 年 2 月 16 日（金） 14：00～16：00

場 所：湯の郷苑 だんらん

出席者：

利用者代表	名	知見を有する者	1 名
利用者家族	1 名	大田市職員	1 名
地域住民の代表	1 名	その他	名
事業所職員			2 人

（１）利用者の状況

令和 6 年 1 月のサービス未利用の方が 1 名おられます。①～⑥の登録者数には含まれていません。但し①登録者数の令和 5 年 1 2 月末には含まれます。

①登録者数

R5. 12 月末	登録者数	11 人	R6. 年 1 月末	登録者数	11 人
	男女比	4：7		男女比	3：8

②地域別登録者数 （R6. 1 月末）

温泉津町	10 名
仁摩町	0 名
その他	1 名

③要介護度別 （R6. 1 月末時点）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
1 名	2 名	3 名	4 名	1 名	0 名	0 名

④生活状況 (R6. 1 月末時点)

世帯	人数	内容
同居	1 名	県外に住む 3 姉妹が 1 か月交代で帰省し介助
	3 名	子供同居
	1 名	夫と同居
独居	3 名	近所に子があり支援がある
	3 名	
宿泊	0 名	

⑤年齢別 (R6. 1 月末時点)

65 歳未満	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上 85 歳未満	85 歳以上 95 歳未満	95 歳以上	平均年齢
0 名	1 名	名	9 名	1 名	85.9 歳

⑥利用回数 (R5. 12 月分)

	利用回数 (延べ)	一人平均 (回)	一日平均 (回)
通い	127 回	11.5 回	4.0/回
宿泊	28 回	2.5 回	0.9/回
訪問	77 回	7.0 回	2.4 回
全サービス (一人当たり)		4.67	

- ・令和 5 年 8 月 30 日体調不良にて入院中の方は 12 月末現在老健入所、令和 6 年 1 月在宅復帰され、今は小規模利用中。

⑥利用回数 (R6. 1 月分)

	利用回数 (延べ)	一人平均 (回)	一日平均 (回)
通い	146 回	13.2 回	4.7/回
宿泊	23 回	2.0 回	0.7/回
訪問	66 回	6.0 回	2.1/回
全サービス (一人当たり)		4.52	

- ・長期宿泊者…なし

1. 議題

①活動状況報告

R5. 12 月（行事） 忘年会

（委員会） 安全衛生委員会

身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会

運営推進会議

第 2 回小規模部会及び BCP 研修

（研修） 認知症基礎研修 1 名終了（オンライン研修）

R6. 1 月（委員会） 安全衛生委員会、感染症対策委員会

身体拘束廃止委員会、事故防止委員会、虐待防止委員会

事業者協議会役員会

（行事） 夜勤対象者健康診断

②感染症の取り組み

マニュアル作成後それに基づき感染対策を行っております。小規模感染予防のチェックリストは事業所用と職員用のものを毎日記録し、感染防止の徹底を行っています。面会希望の時は健康状態を確認し、健康であれば、換気した部屋で 15 分間厳守し行う。

③通院支援（R5. 12 月、 R6. 1 月分）

受診送迎・受診同席	3 回
-----------	-----

④事故報告

なし

⑤苦情報告

令和 5 年 11 月、苦情報告が 1 件ありました。訪問サービス時、調理の手順がご利用者様の意に添わなかったことです。令和 5 年 12 月末頃、サービスを終了したいとご本人から連絡がありました。まったくサービスが無くなる事の迷いもある様子なので現在サービス休止の状況、家族様同意のもとです。

⑥今後の活動予定

R6. 2 月（行事） 節分祭

夜勤対象者健康診断

(委員会) 安全衛生委員会・感染症対策委員会

身体拘束廃止委員会・事故防止委員会・虐待防止委員会

運営推進会議、外部評価

認知症基礎研修 1 名予定

(研修) 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

R6.3月 (行事) ひな祭り

昼間想定避難訓練

(委員会) 安全衛生委員会 感染症対策委員会

身体拘束廃止委員会 事故防止委員会 虐待防止委員会

小規模部会

2. 意見、要望等

市職員からの意見

⑤のサービス未利用の方の家族の同意があると書いてあるがどういう味か。

回答

ご家族（市外に住む三男）は「サービスの継続を望んでおられるが 本人の意思が強く自分達の意見を聞かないので本人に任す」ことに、真意ではないが同意している、サービスは必要だと思うので苑からアプローチをしてほしいとの意味です。

以下（(1) 利用状況の登録に含まないの補足として説明した事の記載）

サービス継続の意思についてご本人に教えてもらいましたので報告します。

「サービスに見合った利用料ではない、通いサービスは時間を持て余し自由に行動が出来ない、この度の苦情もその一因」となり現在の支援に不満足の様子だった。

だが、足が弱くなり出来ないことが増えてきた、地区のゴミステーションの掃除はシルバーカーを押し、バケツを抱えていくことが出来なくなったので困っている、通いサービスは短い時間なら考えてもよいとの話だった。ご本人が今必要とされるサービスが何か十分に話し合い、独

居でも、住み慣れた地域で安全に生活ができ、ご家族が安心できる支援につなげたい。

3. その他

- ① 運営推進会議の構成員のご家族様代表、地域住民代表は来年度も引き続きお願いする事の上承を得た。市職員の方は交代があると思うとの事。利用者様代表はご本人の都合で参加が出来なかったので、違う方にお願いしようと思います。
- ② 令和5年12月29日、職員1名が新型コロナウイルスに感染した。業務は通常通り行った。また、令和6年1月27日職員の家族が新型コロナウイルスに感染した。接触職員は感染対策をしながら業務についた。
- ③ 令和6年2月3日から令和6年2月29日まで泊りサービスを1名の方が利用されます。前回会議にて報告済み。

次回の予定

令和5年度 第6回運営推進会議

令和6年4月19日(金)